

授業計画書

学部	昼	種 コー フ	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	S1	
科目名			企画・プレゼンテーション I			講師名	日向・岡橋	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	株式会社オリエンタルランド、アトラクションスタッフとして4年勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>“表現する”ことの出発点である「プランニング」と、“伝える”ことの手法である「プレゼンテーション」を学ぶ。与えられたテーマに対してあらゆる表現の可能性を探り、その実現に向けた構想や手法の具体的アイデアを企画書にまとめる。与えられた課題を軸に発想力・構成力・創造力を磨き、確実に訴求ポイントに着地させることを目標とする。さらに発表・提案の機会を通じ、プレゼンテーション技術の向上を目指す。</p>					<p>授業形態：講義 企画する題材は【テーマ①：オープンキャンパス来場者向けグッズの開発】【テーマ②：2年生を送る会イベント企画】の2点。「人を喜ばせる」為のモノやプランを考え、アイデアラッシュ→プレゼン→セレクト→ミーティング＆ブラッシュアップという過程を踏み、各段階での思考、行動の流れを体感する。また、チームでの共同作業における協調や自己の役割を理解し、進行管理なども行いながら企画実現に向け協働する。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	テーマ①コンセプト&アイデア				授業目的を理解する。与えられたタスクをクリアする。			
2	テーマ①企画書作り		レポート	6	企画書を作成する			
3	テーマ①プレゼン テーマ②チーム分け		レポート	6	個人プレゼン。限られた時間内でアイデアの意図を確実に伝える			
4	テーマ②アイデアラッシュとミーティング		レポート	6	個人単位でアイデアラッシュし、チームでミーティング			
5	テーマ②プレゼン資料（企画書）作成		レポート	6	プレゼンに向けての魅力ある企画書&資料作り			
6	テーマ②プレゼンとプラン絞込&ブラッシュアップミーティング		レポート	6	チームでプレゼン。創作物や表現アイデアの具体化・確定・共有			
7	テーマ①投票スペース・備品作り テーマ②準備		レポート	6	投票促進するための仕掛け、雰囲気醸成			
8	テーマ②-制作		レポート	6	各個あるいはチームで協力し作業を進める①			
9	テーマ②-制作		レポート	6	各個あるいはチームで協力し作業を進める②			
10	テーマ②-制作		レポート	6	各個あるいはチームで協力し作業を進める③			
11	テーマ②-制作		レポート	6	各個あるいはチームで協力し作業を進める④			
12	テーマ②-最終調整 (必要な場合はリハーサル)		レポート	6	各個あるいはチームで協力し作業を進める⑤			
13	試験WEEK				なし			
14	テーマ②完成 (必要な場合は設置作業)		レポート	6	クラスで協力し表現制作を完成させるトータルな質を高めよう！			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>試験：授業終了時、ジョブレポート提出（書式あり） 日程：毎回（1回目と13回目除く） 配点：レポート提出-----6点×12回=計72点 努力評価点-----28点 （内訳）プレゼン評価13点/制作物評価15点</p> <p>※ジョブレポートについて：授業終了時に何らかの事情で提出が困難な場合は当日中に担任教員に提出</p>					<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>			

授業計画書

学部	昼	科 コース	スタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	TP3/TP4	
科目名			キャラクター&ダンストレーニングⅡ			講師名	田村さやか	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	某大阪テーマパークにてダンサー、振付などで約15年以上勤務。劇団、スタジオ、スクールにて指導しながら、テーマパークで振付演出に携わる。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> • 踊る為に必要な基礎を身につける • 健康的な身体づくり • 身体を動かす楽しさを知る • 与えられた振付を正確に覚え、表現力の幅を広げていく • 自己肯定感を高め、自己効力感を得る • 達成回数を重ねることで自信に繋げる 					授業形態：講義 基本的な動きやストレッチ、身体を動かす為に必要な筋肉トレーニングを行いながら、ダンスステップやクロスフロアー、コンビネーションダンスを踊る。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	基礎チェック・前期の反復練習				授業内容を理解させ、思い出し反復授業			
2	振付①				基礎チェック			
3	テスト		実技	25	正確に踊れているかチェックする			
4	振付②				新しい振付をわたす			
5	テスト		実技	25	自分なりにアピールできているかも評価する			
6	予備日				まとめ			
7	夏期の実習振り返り				実際にテーマパークで働いた経験から必要な事大切な事をキャラクターの存在を含めて考える			
8	キャラクター表現③				発想力、想像力のトレーニングを行う			
9	キャラクター表現④		実技	15	体を使ったノンバーバルの表現で動いてみる			
10	ストーリー制作				キャラクターの登場するストーリーをグループで考え創造する			
11	キャラクター表現⑤、ストーリー発表		実技	20	ストーリーのグループ発表を行う			
12	テーマパーク、キャラクターとは		課題	15	テーマパーク、キャラクターについてのレポート提出			
13	試験WEEK		なし		持ち込み：			
14	まとめ				一年間のまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/13実技の追試は→11/27に行う 1/15実技の追試は→1/29の予備日に行う					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	風	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	TP1/TP2	
科目名			テーマパークイングリッシュⅡ			講師名	寺岡 有美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	ディズニーバケーションクラブでバケーションアドバイザーとして、ホテル・レストランの予約等を担当。その後、KCJ GROUP株式会社キザニア甲子園で5年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
英語を話すことを楽しむ。海外からいらっしゃるゲストの方々にも安全に楽しんで頂けるよう、テーマパークで使う英語を身に付け、積極的に英語でコミュニケーションがとれるスタッフを目指す。				授業形態：講義				
				各部署ごとの英会話表現を学ぶ 新しい英会話表現を学ぶ→実技テストをする この繰り返しで授業を進め、英会話表現を確実に自分のものにする				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	夏休み振り返り				英語で日記を書いてみよう			
2	前半：課題をグループ内で発表 後半：イベントスタッフ		課題提出発表	5 5	イベントで使える英語を学ぶ			
3	レストランスタッフ				レストランで使える英語を学ぶ			
4	実技テスト		実技	15	レストランスタッフ実技テスト			
5	エントランススタッフ				エントランスで使える英語を学ぶ			
6	実技テスト		実技	15	エントランススタッフ実技テスト			
7	ショップスタッフ				ショップで使える英語を学ぶ			
8	実技テスト		実技	15	ショップスタッフ実技テスト			
9	海外旅行英会話				海外旅行先でも英語が使えるようになる			水曜日 だけど 月曜日
10	アトラクションスタッフ				アトラクションで使える英語を学ぶ			
11	実技テスト		実技	15	アトラクションスタッフ実技テスト			
12	各部署の英会話振り返り・テスト対策				試験WEEKテスト対策			
13	試験WEEK		筆記	30	持ち込み：なし			
14	1年間の総復習				1年間で学んだ英会話表現を振り返り2年次の応用に繋げる			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/21 課題提出（追試：欠席日より2週間後までに提出） 10/21 課題発表（追試：母数減らし） 11/11・25・12/9・1/27 実技テスト （追試：欠席日より2週間後までに行う。休み時間に実施） ＊公欠が続き実技試験が不可能の場合は、母数減らしで対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	M	
科目名			パークサービスオペレーションⅡ			講師名	日向 葵	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	株式会社オリエンタルランド、アトラクションスタッフとして4年勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>1年生の年間テーマを『キャストとして、役割を演じ、ゲストをテーマの世界に引き込んでいく』としている。 このゴールに向けて、1ランク上の接客を目指す。 後半はオープンキャンパスとコラボレーションして、1からマニュアルを作り、ゲストサービスし、実践的な力を身に着ける。</p>					<p>授業形態：講義 前半：表現力の向上のため、自己PR、スピール表現、感情表現のワークを実施する。 後半：ロールプレイを中心とし高校生ゲストにおもてなしをするため学生自ら考え、最高のマニュアルを作成する。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	夏期研修振り返り				実習での気づきから自己成長につなげる			
2	1分スピーチ『成長したこと』		実技	15	人前で話す力のレベルアップ			
3	GC対応				クレーム対応の基本プロセスを学ぶ			
4	ゲストサービス				ゲスト対応の引き出しを増やす			
5	スピール大会		実技	15	表現力の向上			
6	OCイベント説明&個人案作成		課題	10	学校の広報部からOCの意味を学ぶ	広報の先生		
7	グループ&企画書作成		課題	10	おおまかな内容を決め、オーディションまでの計画を行う			
8	イベント準備①		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
9	イベント準備②		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
10	研修旅行 事前授業				研修旅行から学ぶべきポイントの予習			
11	イベント準備③		研修旅行の宿題	10	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
12	イベント準備④		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
13	試験WEEK オーディション			20	持ち込み：発表資料			
14	イベント準備⑤&1年間のまとめ		課題	5	イベントの内容を仕上げる			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/8・11/5 実技（追試：欠席日より2週間後までに行う）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	
11/12・19 課題＝企画書の提出（追試：欠席日より2週間後までに提出）								
11/26・12/3・1/28・2/18 課題＝授業態度（追試：母数減らし）								
1/21 研修旅行の宿題（追試：欠席日より2週間後までに提出）								

授業計画書

学部	昼	科 コース	テーマパーク	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	M・S1	
科目名			パフォーマンストレーニングⅡ			講師名	玉川哲也	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	「ユニバーサルスタジオジャパン」・「レゴランドジャパン」でエンターテナーとして計10年活動中。クニコラウン（臨床道化師）として14年活動中。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>前期で学んだ表現（パフォーマンス）を基にさらなる理解を深めると共にそれ等を実践する為に必要な自己のキャラクターの創造及び獲得を目指す。またそれら表現を効果的に伝える為の視点を持ち、クリエイターの思考に立って表現を創造していく事を学ぶ。</p>					<p>授業形態：講義 体験を主としたワークショップ形式の授業。授業は実体験を中心とし、用意されたプログラムをこなすだけに留まらず即興力も磨いていく</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	コメディ分析				コメディを分析する事により演出する側の意図を読み解く			
2	マイムで遊ぶ				マイムの手法から身体表現を学ぶ			
3	表現とコミュニケーション				より効果的な表現及び伝達方法を考えてみる			
4	キャラクターを活かす				自己のキャラクターをつかみ活かす手段を発見する			
5	コメディを演じる～上級編～				より豊かな表現力を獲得する			
6	パフォーマンスプレゼンテーション		実技	26	自己のキャラクターを活かして表現する			
7	ファミリーアドバイザーとは				ファミリーアドバイザーの意義と必要性			
8	各世代別行動特性				ファミリーの特性を知り問題を解決する			
9	ボイストレーニング・第一印象の重要性				各世代に合わせた話し方・聞き方			
10	お客様の4つのタイプ・顧客満足				お客様の心理を理解して対応する			
11	怒りの心理学・クレーム対応実技テスト		実技	20	お客様の心理を理解して対応する			
12	クレーム事例とクレーム対応				ファミリーアドバイザー-必要性の認識			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	折れない心（放課後3級検定）				期待される働き方をするために			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>毎授業レポート提出（授業内実施）4点×6回＝24点 11/13 実技（追試：レポート提出）＝26点</p>					<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		<p>ウォーミングアップにてジャグリングボール・バルーン毎回使用。その他道具は必要な時に用意するものとする。レジメを配布する場合もある。</p>	

授業計画書

学部	風	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	TP	
科目名			芝居表現トレーニングⅡ			講師名	西岡裕子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	劇団ひまわりにて演劇の基礎を学び、俳優活動歴22年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
テーマパークスタッフに必要な表現力、コミュニケーション力、自己発信力を強化し、人前に立ち自分を表現することで人を喜ばせることの楽しさ、難しさを知る。 自分の言葉で自分の想いを伝えられる自信を手に入れ、全国各地どのテーマパークでも通用する表現力を養う。					授業形態：講義 期末発表会に向け、シアタートレーニングや演劇作品の創作に取り組む。 シャーシなどの動きやすい服装で出席のこと。スカートやスーツ、ヒールなど、動きが制限される服装での出席は認めません。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	シアタートレーニング				仲間のことを知る。			
2	シアタートレーニング・台本				前期よりも難しいトレーニングに挑戦			
3	シアタートレーニング・台本				発想力の強化・発表作品の理解			
4	キャスティング				自分の役割の把握・理解			
5	作品創作				動きや立ち位置をしっかりと覚える			
6	作品創作		実技	30	台詞はすべて覚えて			
7	作品創作				役の感情を考え表現してみる			
8	作品創作				細かな部分の修正			
9	作品創作		実技	20	台詞・動きともに完成させる			
10	作品創作		実技	30	年内に創ったものからさらに上を目指す。			
11	作品創作				音響・照明含め作品完成			
12	最終リハーサル				すべて本番通りに通す。			
13	試験WEEK 合同発表会		実技	20	今までやってきたことに自信を持って			
14	1年振り返り				自分を振り返り来年にむけての目標を立てる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/25 セリフ暗記テスト…30点 12/11・2/3 動き・セリフ・表現力テスト…20点/30点 2/3・試験WEEK発表会…20点 計100点満点 追試が発生した場合は、追試申請書提示の回で行う。 必ず公欠になった次の週の授業開始前に提示すること。 ※内容は授業内テストと異なる					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		演劇台本	

授業計画書

学部	風	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	N	
科目名			卒業制作Ⅰ			講師名	西岡裕子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	劇団ひまわりにて演劇の基礎を学び、俳優活動歴22年。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
2年間の集大成として、これまでに手に入れた表現力を最大限に活かして一つの作品を自分たちの力で創りあげる。人前に立つことの楽しさ、自分の想いを伝えることの大切さを改めて感じ、卒業後も必要な表現力を高めていく。 他授業とも融合した作品づくり。				授業形態：講義 台本・音響・照明・衣装・大道具・制作・広報・その他公演にあたり必要な作業はすべて自分たちで行う。講師は演出、演技指導のみ。ジャージなど動きやすい服装で出席のこと。講師からの指定がない限り、スーツやスカート、ヒールやサンダルなど動きの制限される服装での出席は認めません。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
2	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
3	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
4	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
5	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
6	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
7	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
8	本番前最後の調整				発表にむけての準備・練習			
9	最終リハーサル・本番		実技	20	すべてだしきる。悔いのないように。			
10	英語劇制作				相手を想い、準備を進める。			
11	英語劇制作				仲間と協力することの大切さを改めて知る			
12	英語劇制作				すべて本番通りに通す。			
13	試験WEEK				持ち込み：紙面で表現するのに必要なもの			
14	振り返り				自分を振り返り将来にむけての目標を立てる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/11 作品完成…20点 10/18 セリフテスト…20点 12/6 本番…30点 試験WEEK内筆記…30点 計100点満点 追試が発生した場合は、追試申請書提示の回で行う。 必ず公欠になった次の週の授業開始前に提示すること。 ※内容は授業内テストと異なる					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		演劇台本	

授業計画書

学部	昼	科 コース	テーマパークスタッフ科	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	Nクラス	
科目名			空間スタイリングⅡ・A			講師名	流石矢 一・吉田	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		東京都有名キャラクターの関西チームの立ち上げ・制作・運用などを約4年勤務。その他、舞台・キャラクターショー・テーマパークでの勤務経験もあり。現在タレント事務所に所属しCM・ドラマ・ナレーションなど			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
					授業形態：講義 個人レベルでアイデアを創出し、その後グループ単位でミーティングを行い実行可能なプランをまとめ、実制作へと進める。各日の作業日・作業内容を設定しクラス全体でその内容確定を行い。作業工程・計画・振り分け、打ち合わせなど、卒業制作に伴うすべての準備をクラス全体で試案をし実施し作業を行う。 キーワード：独創力・協調性・計画性・スケジュール管理			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業内容について/プランニング開始		☆1	5	授業趣旨の理解・クラス全体での方向性を試案する。			
2	<small>基本・作品にそった造形やセットプラン・衣裳の話し合いに 担当や作業の振り分け、打ち合わせを行う。</small>		☆1	5	チームの方向性・造形・衣裳プランの確定と担当の振り分け、材料の確認、準備物のラインナップなど。			
3	<small>造形衣裳プランの全体での確定、備品材料の準備 次回からの作業工程・振り分けの最終確認</small>		☆1	5	作業日へ向けてのすべての準備と確認			
4	作業-1：作業日		☆2	10	※作業開始⇒片づけ・清掃 (授業終了までに行う)			
5	作業-2：作業日		☆2	10	同上			
6	作業-3：セット・衣裳の完成と作成作業		☆2	10	同上			
7	作業-4：最終仕上げ・すべての準備		☆2	10	同上			
8	卒業制作発表 本番日							
9	大道具・小道具・衣裳の整理整頓		☆3	5	※本番終了後の全体の片付けを行う。			
10	ステージ・備品・衣裳の撤収と片付け		☆3	10	作業スペースの原状復帰と片付けを行う。			
11								
12								
13	試験WEEK				1/0			
14								
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
※授業内でのテストの実施はありませんが場合によりレポート提出の可能性もあります。 ～実技評価～ ★授業内での取り組み方・作業評価などを含む★ ☆1：15点 ☆2：40点 ☆3：15点 以上、空間スタイリングAは70点満点で評価を行います。 残り30点は、Bの授業での評価が加算され100点満点で評価されます。 ※この授業に関して12/11以降の授業計画書は、別で配布されます。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	風	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	N	
科目名			卒業制作Ⅱ			講師名	西岡裕子	
担当講師の実務経験		○	実務経験	劇団ひまわりにて演劇の基礎を学び、俳優活動歴22年。表現講師歴10年。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
2年間の集大成として、これまでに手に入れた表現力を最大限に活かして一つの作品を自分たちの力で創りあげる。人前に立つことの楽しさ、自分の想いを伝えることの大切さを改めて感じ、卒業後も必要な表現力を高めていく。 他授業とも融合した作品づくり。				授業形態：講義 台本・音響・照明・衣装・大道具・制作・広報・その他公演にあたり必要な作業はすべて自分たちで行う。講師は演出、演技指導のみ。ジャージなど動きやすい服装で出席のこと。講師からの指定がない限り、スーツやスカート、ヒールやサンダルなど動きの制限される服装での出席は認めません。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
2	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
3	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
4	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
5	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
6	作品づくり		実技	20	発表にむけての準備・練習			
7	作品づくり				発表にむけての準備・練習			
8	本番前最後の調整				発表にむけての準備・練習			
9	最終リハーサル・本番		実技	20	すべてだしきる。悔いのないように。			
10	英語劇制作				相手を想い、準備を進める。			
11	英語劇制作				仲間と協力することの大切さを改めて知る			
12	英語劇制作				すべて本番通りに通す。			
13	試験WEEK				持ち込み：紙面で表現するのに必要なもの			
14	振り返り				自分を振り返り将来にむけての目標を立てる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/11 作品完成…20点 10/18 セリフテスト…20点 12/6 本番…30点 試験WEEK内本番…30点 計100点満点 追試が発生した場合は、追試申請書提示の回で行う。 必ず公欠になった次の週の授業開始前に提示すること。 ※内容は授業内テストと異なる					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		演劇台本	

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	TA	
科目名			パークサービスオペレーションⅡ			講師名	日向 葵	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	株式会社オリエンタルランド、アトラクションスタッフとして4年勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>1年生の年間テーマを『キャストとして、役割を演じ、ゲストをテーマの世界に引き込んでいく』としている。 このゴールに向けて、1ランク上の接客を目指す。 後半はオープンキャンパスとコラボレーションして、1からマニュアルを作り、ゲストサービスし、実践的な力を身に着ける。</p>					<p>授業形態：講義 前半：表現力の向上のため、自己PR、スピール表現、感情表現のワークを実施する。 後半：ロールプレイを中心とし高校生ゲストにおもてなしをするため学生自ら考え、最高のマニュアルを作成する。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	夏期研修振り返り				実習での気づきから自己成長につなげる			
2	1分スピーチ『成長したこと』		実技	15	人前で話す力のレベルアップ			
3	GC対応				クレーム対応の基本プロセスを学ぶ			
4	ゲストサービス				ゲスト対応の引き出しを増やす			
5	スピール大会		実技	15	表現力の向上			
6	OCイベント説明&個人案作成		課題	10	学校の広報部からOCの意味を学ぶ			
7	グループ&企画書作成		課題	10	おおまかな内容を決め、オーディションまでの計画を行う			
8	イベント準備①		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
9	イベント準備②		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
10	イベント準備③		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
11	イベント準備④		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
12	イベント準備⑤		課題	5	ゲストの気持ちを考えたマニュアルづくり			
13	試験WEEK オーディション			20	持ち込み：発表資料			
14	イベント準備⑥&1年間のまとめ		課題	5	イベントの内容を仕上げる			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/21・11/18 実技 (追試：欠席日より2週間後までに行う) 11/25・12/2 課題=企画書の提出 (追試：欠席日より2週間後までに提出) 12/9・11・1/20・1/27・2/3・2/17 課題=授業態度 (追試：母数減らし) 試験WEEK 実技 (追試：チーム点)					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	TA	
科目名			キャラクター&ダンストレーニングⅣ			講師名	AKI	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	テーマパークにてエンターティナーとして6年間勤務				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ゲストとキャラクターの架け橋となれるクルーキャストになる為の表現力の向上。					授業形態：講義 体で表現する楽しさを知り相手の気持ちや伝えたい事が読み取れるようになる。ショー作りの楽しさや難しさを知る。			
					実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数
1	表現カトトレーニングⅠ			体を大きく使って相手に伝える				
2	表現カトトレーニングⅠ			体を大きく使って相手に伝える				
3	表現カトトレーニングⅡ			空間を意識して表現する				
4	表現カトトレーニングⅡ			空間を意識して表現する				
5	実技テスト	実技	30	Ⅰ・Ⅱのまとめテスト				
6	実技テスト	実技	30	Ⅰ・Ⅱのまとめテスト				
7	振付	課題	15	ショーの振付を覚える				
8	振付	課題	15	ショーの振付を覚える				
9	ショー作り	課題	15	ドレスを使ってショーを作る				
10	ショー作り	課題	15	ドレスを使ってショーを作る				
11	実技テスト	実技	40	ショーの発表				
12	実技テスト	実技	40	ショーの発表				
13	試験WEEK			持ち込み：				
14	まとめ			まとめ				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
11/6・11/13 実技（追試；次次回までに行う）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	動ける服装		

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	TA	
科目名			キャラクター&ダンストレーニングV			講師名	Dollar	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・USJ 3年 ・某高校ダンス部コーチ 9年 			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
テーマパークスタッフとして、表現力の幅を広げゲストをより楽しませれるように、最低限のダンスのスキルを身につける。					授業形態：講義 ストレッチ→アイソレーション（首・肩・胸・腰のコントロール）→音に合わせて動く→ステップの習得→振り付け			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	基礎・ステップ・振り付け					ダウンのリズムを理解する		
2	基礎・ステップ・振り付け					ダウンのリズムを理解する		
3	テストの振り付けを覚える					アップとダウンのリズムで踊る		
4	テストの振り付けを覚える					アップとダウンのリズムで踊る		
5	テスト			実技	25	表現力の向上		
6	テスト			実技	25	表現力の向上		
7	基礎・ステップ・振り付け					手と足を連動して踊る		
8	基礎・ステップ・振り付け					手と足を連動して踊る		
9	テストの振り付けを覚える					全身を使って踊れるように		
10	テストの振り付けを覚える					全身を使って踊れるように		
11	テスト			実技	25	ゲストを楽しませる		
12	テスト			実技	25	ゲストを楽しませる		
13	試験WEEK					持ち込み：		
14	まとめ					今まで覚えた動きを使って振り付けを考えてみよう		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
11/13・1/29 実技（追試：欠席日より2週間後までに行う）						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	TA	
科目名			キャラクター&ダンストレーニングⅥ			講師名	Dollar	
担当講師の実務経験		○	実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・USJ 3年 ・某高校ダンス部コーチ 9年 				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
テーマパークスタッフとして、表現力の幅を広げゲストをより楽しませれるように、最低限のダンスのスキルを身につける。					授業形態：講義 ストレッチ→アイソレーション（首・肩・胸・腰のコントロール）→音に合わせて動く→ステップの習得→振り付け			
					実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数
1	基礎・ステップ・振り付け			ダウンのリズムを理解する				
2	基礎・ステップ・振り付け			ダウンのリズムを理解する				
3	テストの振り付けを覚える			アップとダウンのリズムで踊る				
4	テストの振り付けを覚える			アップとダウンのリズムで踊る				
5	テスト	実技	25	表現力の向上				
6	テスト	実技	25	表現力の向上				
7	基礎・ステップ・振り付け			手と足を連動して踊る				
8	基礎・ステップ・振り付け			手と足を連動して踊る				
9	テストの振り付けを覚える			全身を使って踊れるように				
10	テストの振り付けを覚える			全身を使って踊れるように				
11	テスト	実技	25	ゲストを楽しませる				
12	テスト	実技	25	ゲストを楽しませる				
13	試験WEEK			持ち込み：				
14	まとめ			今まで覚えた動きを使って振り付けを考えてみよう				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
11/13・1/29 実技（追試：欠席日より2週間後までに行う）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	TA1/TA2	
科目名			テーマパークイングリッシュⅡ			講師名	寺岡 有美	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	ディズニーハゲーションクラブでハゲーションアドバイザーとして、ホテル・レストランの予約等を担当。その後、KCJ GROUP株式会社キザニア甲子園で5年間勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
英語を話すことを楽しむ。海外からいらっしゃるゲストの方々にも安全に楽しんで頂けるよう、テーマパークで使う英語を身に付け、積極的に英語でコミュニケーションがとれるスタッフを目指す。					授業形態：講義			
					各部署ごとの英会話表現を学ぶ 新しい英会話表現を学ぶ→実技テストをする この繰り返しで授業を進め、英会話表現を確実に自分のものにする			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	夏休み振り回り				英語で日記を書いてみよう			
2	イベントスタッフ		課題提出	10	イベントで使える英語を学ぶ			
3	レストランスタッフ				レストランで使える英語を学ぶ			
4	実技テスト		実技課題	15 5	2・3で学んだ、どちらかの部署の英語を使って実技テスト			
5	エントランススタッフ				エントランスで使える英語を学ぶ			
6	ショップスタッフ				ショップで使える英語を学ぶ			
7	実技テスト		実技課題	15 5	5・6で学んだ、どちらかの部署の英語を使って実技テスト			
8	アトラクションスタッフⅠ				アトラクションで使える英語を学ぶ			
9	海外旅行英会話				海外旅行先でも英語が使えるようになる			
10	アトラクションスタッフⅡ				アトラクションで使える英語を学ぶ			
11	実技テスト		実技	20	8・10で学んだ英語を使って実技テスト			
12	各部署の英会話振り返り・テスト対策				試験WEEKテスト対策			
13	試験WEEK		筆記	30	持ち込み：なし			
14	1年間の総復習				1年間で学んだ英会話表現を振り返り2年次の応用に繋げる			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/11 課題提出（追試：欠席日より2週間後までに提出） 10/25・11/15・1/24 実技テスト（追試：欠席日より2週間後までに行う。休み時間に実施） 10/25・11/15 課題（追試：母数減らし） *公欠が続き実技試験が不可能の場合は、母数減らしで対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	TA	
科目名			芝居表現トレーニングⅡ			講師名	西岡裕子	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	劇団ひまわりにて演劇の基礎を学び、俳優活動歴22年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
テーマパークスタッフに必要な表現力、コミュニケーション力、自己発信力を強化し、人前に立ち自分を表現することで人を喜ばせることの楽しさ、難しさを知る。 自分の言葉で自分の想いを伝えられる自信を手に入れ、全国各地どのテーマパークでも通用する表現力を養う。					授業形態：講義 期末発表会に向け、シアタートレーニングや演劇作品の創作に取り組む。 シャーシなどの動きやすい服装で出席のこと。スカートやスーツ、ヒールなど、動きが制限される服装での出席は認めません。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	シアタートレーニング				仲間のことを知る			
2	シアタートレーニング・台本				前期よりも難しいトレーニングに挑戦			
3	シアタートレーニング・台本				発想力の強化・発表作品の理解			
4	キャスティング				自分の役割の把握・理解			
5	作品創作				動きや立ち位置をしっかりと覚える			
6	作品創作		実技	30	台詞はすべて覚えて			
7	作品創作				役の感情を考え表現してみる			
8	作品創作				細かな部分の修正			
9	作品創作		実技	20	台詞・動きともに完成させる			
10	作品創作		実技	30	年内に創ったものからさらに上を目指す。			
11	作品創作				音響・照明含め作品完成			
12	最終リハーサル				すべて本番通りに通す。			
13	試験WEEK 合同発表会		実技	20	今までやってきたことに自信を持って			
14	1年振り返り				自分を振り返り来年にむけての目標を立てる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/8 セリフ暗記テスト…30点 12/6・1/17 動き・セリフ・表現力テスト…20点/30点 2/?・試験WEEK発表会…20点 計100点満点 追試が発生した場合は、追試申請書提示の回で行う。 必ず公欠になった次の週の授業開始前に提示すること。 ※内容は授業内テストと異なる					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		演劇台本	

授業計画書

学部	夜	科 コース	テーマパークスタッフ科	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		45		単位数	3	クラス	TC	
科目名			卒業制作ⅠⅡ			講師名	田中照人	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	・俳優養成所で10年演劇を学ぶ。25年間様々な舞台に出演。 その中で10年間はTV・ラジオ出演も多数。 20年間表現講師としても、老若男女いろんな年齢に表				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
・チームワークの重要性、責任感の体得、表現者としてのプロ意識構築。 ・自己満足に終わらせないことが最大のポイント。お客さまを意識した企画発表を！				授業形態：講義 卒業制作：自己満足ではなく、お客さまを意識した作品を、チーム丸となって挑戦し、必ず成功させる。 ※台本、音響、照明も全て自分たちで行う。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト	各回の到達目標			特記事項	
			内容	点数				
1	台本完成・読み稽古各部署で動く。				脚本・美術・衣装・音響・照明			
2	シーン創り①		実技	5	練習時間とお客様を意識して、稽古をする。			
3	シーン創り②		実技	5	全員で創る意識をしっかりと持つ			
4	シーン創り③		実技	5	台本なしでの稽古			
5	シーン創り④		実技	5	台本なしでの稽古			
6	音楽・照明・衣装合わせ		実技	5	音・照明との合わせ稽古/衣装合わせも			
7	通し稽古		実技	5	しっかりお客様を楽しませることを考える			
8	ゲネプロ		実技	5	全て本番通り。緊張感を持って練習。			
9	本番：16：00～（片付けも）終了予定19：00		実技	30	2年間の集大成！！			
10	イオンの発表を英語で！振り返り①		実技	5	まずは英語でスムーズにセリフを回せるか？			
11	イオンの発表を英語で！振り返り②		実技	5	セリフと動きの確認。			
12	イオンの発表を英語で！振り返り③		実技	5	音響との合わせ稽古。			
13	試験WEEK		実技	20	キンダーキッズで公演予定。			
14	振替休日							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細				達成度評価			使用教材	
☆2・3・4・5・6・7・8・10・11・12回は母数減らし。 ☆9回目13回目はレポート提出。				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				